

2009/5-16



☆「冗談音楽」の世界☆ 元祖「英国・ホフナング音楽祭」VS 「山本直純ウィット・コンサート」

今日は皆様をクラシック音楽の**パロディーの世界**にご案内したいと思います。その歴史を紐解きますとま
ず浮かんできますのが英国で1956年11月に開催された「**ホフナング音楽祭**」です。この催しを企画・考
案したのが**ジェラード・ホフナング(1925~1959)**というベルリン生まれの当時、英国の若手漫画家でした。古
今東西に至るクラシックの名曲をデフォルメ、パロディー化して人々に楽しんでもらうという奇想天外な
企画で大成功をおさめました。その日本版がクラシック音楽界で異色の存在だったマルチ・タレント**山本
直純(1932~2002)**と日本フィルにより1967年から1971年まで毎年夏、開催された「**山本直純ウィット・コンサ
ート**」です。私もこのコンサートが楽しみでほぼ毎回、会場に足を運びました。現在、そのコンサートを伝え
る映像は残念ながら残されておりません。しかし近年そのステレオ録音テープが発見され、7年前にC
D化もされました。その一部をこれからご紹介したいと存じます。

■ ■ ■ プログラム ■ ■ ■

1) 序曲「レオノーレ」第4番 (ベートーヴェン/パロディー化の編曲者:不明) (約10分)

(演奏) ノーマン・デル・マー指揮 ホフナング音楽祭管弦楽団

(1961年ホフナング音楽祭・11月28日/ロイヤル・フェスティバル・ホール、Live)

2) 交響曲第45番「宿命」 <ベートーヴェン+ α /山本直純 編曲(変曲)> (約36分)

I. 指揮者登場 序奏部 II. 旅路 III. 田園の風景 IV. ロマンズ

V. フォーク・ソング/ウェスタン・デキシー VI. フィナーレ

(演奏) 山本直純 指揮 日本フィルハーモニー交響楽団

(山本直純/日本フィル・ウィット・コンサート/1967年7月25日、東京文化会館 Live)

休憩

3) ピアノ狂騒曲「ヘンペラー」 <ベートーヴェン+ α /山本直純 編曲(変曲)> (約20分)

(演奏) 山本直純 指揮 / (ピアノ) 伊達 純 日本フィルハーモニー交響楽団

(山本直純/日本フィル・ウィット・コンサート/1968年7月18日、東京文化会館、Live)

4) ヴァイオリン狂騒曲「迷混」 <メンデルスゾーン/ベートーヴェン+ α / (約38分)

山本直純 編曲(変曲)>

(演奏) 山本直純 指揮 (ヴァイオリン) ルイ・グレーラー 日本フィルハーモニー交響楽団

(山本直純/日本フィル・ウィット・コンサート/1969年8月9日、東京文化会館、Live)

=====
※ 私のURL : <http://blog.goo.ne.jp/florian2896> にて私のレコード・コレクションを紹介しておりま
す。ぜひアクセスしてみてください。